



# アグリワークポイント AGRIWORKPOINT

## 次年度に向けて

果樹林産センター 青島



### 貯蔵

温州ミカンを貯蔵するのに適した温度は5℃、湿度は85%程度です。貯蔵庫内の温度が高くなっている場合は、夜間の冷涼な外気を導入して換気を行い、庫内の温度が下がるようにします。湿度が85%よりも高いと、予措戻りによる浮皮や腐敗果の発生が多くなります。一方で湿度が80%を下回ると果皮のしおれが激しくなり、しなび果が生じます。複数箇所に温湿度計を設置して定期的にチェックを行いましょう。また、貯蔵している果実は定期的に点検を行い、腐敗果を見つけたら健全な果実に移らないように、すぐに取り除くようにしましょう。

### 寒風害対策

冬季の寒風は、落葉を助長し、樹勢低下や翌年の着花量減少を引き起こします。温州ミカンにおける寒風害対策として、防風垣や防風ネットの設置が有効です。防風垣は密閉度が高すぎると、冷気が停滞する場合があります。また、適度に刈り込み、通風を確保します。また、苗木や幼木については、寒冷紗や不織布などの資材で樹体を覆って、直接寒風が当たるのを防ぐ対策も効果的です。

### 病害虫防除・樹勢回復

ミカンハダニやカイガラムシ類の越冬個体を減らすため、マシン油乳剤を収穫後に散布しましょう。次年度の第一世代の発生を抑えるのに効果的ですので、収穫時に被害が見られた園地では必ず防除を行います。う。防除にあたっては、葉裏や幹にかかるように十分な薬量を散布します。また、厳冬の散布は樹勢を低下させる恐れがありますので、散布が遅れる場合は3月に実施しましょう。

| 薬剤散布            | 対象病害虫           | 散布時期        | 希釈倍率 |
|-----------------|-----------------|-------------|------|
| マシン油乳剤<br>(97%) | カイガラムシ類<br>ハダニ類 | 1月上旬<br>~中旬 | 60倍  |
| 尿素              | 葉面散布            |             | 500倍 |